

【会員だより】

オープンキャンパス、大瑠璃祭に参加しました

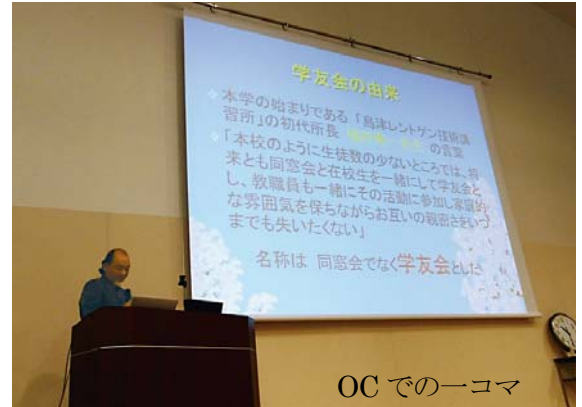
企画委員長 川光 秀昭(54 回生)

大学受験を控えた高校生、保護者を対象にしたオープンキャンパスが、平成 27 年 10 月 24 日(土)に開催されました。学友会では、相談コーナーを併設して、業務の現状などに対する疑問に答えました。

私が専門学校に通っていた 30 年前は、女性はクラスの中で 1 割程度しか在籍していませんでしたが、参加者を見ていると最近では女性の受験者の割合も増加しているようです。それにともない相談者の大半が女性でした。昨年までは、保護者から診療放射線技師という職業に対する質問が多く寄せられていましたが、今年は、学生本人から被ばくや夜勤、マンモグラフィなど、より具体的な質問を受けたことが特徴的でした。

相談者のほとんどが女性で、医療職として看護師と比較している方が多く、中には、国立大学の看護学科に在学中だが、臨床実習で病院に出て初めて診療放射線技師の業務を知り、大学に入り直して診療放射線技師になりたいと相談してくる女学生もいました。昨年の受験に失敗して現在は浪人中だが、自身のモチベーションを保つためにオープンキャンパスに参加し、今年の合格を切望している学生なども相談に訪れてくれ、相談員である診療放射線技師としてのモチベーションも向上してもらった気がしました。

同時に行われていた大瑠璃祭(学園祭)では、学友会の有志が在校生に対する相談コーナーを開設していました。体育館が工事中のために昨年度までのようなオープンスペースではなく、会議室での開設になったので、学生は少し入りにくかったかも知れません。学生に手伝ってもらい学友会の模擬店も出店したので、食べ物と飲み物(アルコール)につられて相談?に来てくれた学生も散見しました。また、土曜日の午後の勤務を抜け出して参加してくれた強者の会員もおり、学生時代のバンカラな感覚が少し目覚めたような気がしました。一方、飲み物のせいで、傾眠傾向に陥った会員を(比較的)若い会員が介抱するなど、会員同士の相互扶助も発揮され、和気あいあいの中で学園祭を終わることができました。忙しい中、勤務中にも関わらず、オープンキャンパスや大瑠璃祭に参加していただいた学友会の皆様に感謝いたします。



OC での一コマ



学生懇談コーナー



以上